

**■出生数の推移**

平成14年の出生数は15,577人と、昭和49年の24,525人をピークに減少してきています。今後も減少傾向で推移し、平成22年には約14,800人になると推計されます。

**■合計特殊出生率**

札幌市の平成14年の合計特殊出生率(注)は1.06(速報値)となり、前年に比べて0.02ポイント上昇しています。

平成13年の状況を見ると、全国(1.33)を大きく下回り、政令指定都市で最も低い水準となっています。

(最高：北九州市1.36, 最低：札幌市1.04)

(注)合計特殊出生率：15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数。

**■子どもに対する親の意識**

札幌市では「虐待をしていると思うことがある親」の割合は全国に比べて低くなっています。

また、「事故防止の工夫をしている家庭」、「心肺蘇生法を知っている親」、「かかりつけの小児科医がいる」の割合は、全国に比べて高い数値を示しています。

(%)

項目	札幌市	全国	
虐待をしていると思うことがある親	10.2	※ 18.1	
事故防止の工夫をしている家庭	19.4	4.2	1.8
心肺蘇生法を知っている親	24.3	19.8	21.3
かかりつけ小児科医がいる	86.0	※ 81.7	

札幌市：「平成13年母子保健に関する市民意識調査」

全国：「平成13年度厚生労働科学研究」

※「平成12年度幼児健康度調査」

**説明**

**■札幌市の子育て環境**

札幌市の子育て環境について、肯定的に評価する人は、市民全体で約6割に達しています。

ただし、若年層では、その割合は半数を下回っています。

札幌市は子育てのしやすい環境 (%)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	わからない・不明
市民全体 (20～69歳)	19.6	48.6	22.2	2.9	11.7
若年層 (20～34歳)	5.8	40.5	30.9	5.2	17.5

「平成11年少子社会に関するアンケート調査」(札幌市児童家庭部)

**■子育て不安感**

子育て中の多くの女性が育児不安や心配ごとを感じています。

子育てに心配ごとがある母親 (%)

	4か月児の母親	10か月児の母親	1歳6か月児の母親	3歳児の母親
心配ごとあり	45.5	53.9	64.4	70.1

「平成13年母子保健に関する市民意識調査」

(参考)全国：子育てに自信が持てない母親 27.4% (「平成12年度幼児健康度調査」)

**■女性が子育てと就労を両立するために必要なこと**

子育てをしながら働く女性の多くが、今後も働き続けるために改善が必要なこととして、「子育てに対する職場の理解・支援の不足」や「保育施設の不足」を理由として挙げています。

母親が働くための改善要案(複数回答：上位6項目) (%)

子育てに対する職場の理解不足	52.4
職場の支援体制が不十分	49.4
保育施設数の不足	42.9
雇用・再就職が困難な状況	38.6
育児休業が取りにくい雰囲気	32.2
働きづらい職場の雰囲気	32.2

「平成11年少子社会に関するアンケート調査(若年層調査)」(札幌市児童家庭部)

**説明**

**■子育てにより生じる問題・デメリット**

「経済的負担」(52.4%)、「精神的・肉体的負担」(45.7%)、「余暇の時間がない」(42.1%)を子育てにより生じる問題・デメリットとして挙げている女性が多い。

また、「経済的負担」については男女間で大きな差はないが、「精神的・肉体的負担」、「余暇時間がない」、「仕事との両立」という面では男性より女性のほうがより多くデメリットを感じている。

子育てにより生じる問題・デメリット(複数回答) (%)

項目	全体	男	女
経済的に負担が大きい	53.7	56.6	52.4
精神的・肉体的に負担が大きい	39.6	26.9	45.7
余暇の時間が持てない	36.7	25.6	42.1
仕事をやるチャンスが減る	28.6	9.1	38.0
仕事に全力投球できない	26.2	8.8	34.6
行動範囲が狭まる	26.0	21.5	28.2
人と交流する機会や時間が減る	15.7	10.8	18.1

「平成11年少子社会に関するアンケート調査(市民全体調査)」(札幌市児童家庭部)

**■理想の子ども数より少ない理由**

約5割の人が理想の子ども数より現在の子ども数が少ないと答えています。その理由として、「家計にゆとりがほしい」と「教育費がかかる」の経済的理由が上位に挙がっています。

理想の子ども数より少ない理由(複数回答：上位8項目) (%)

項目	全体	男	女
家計にゆとりがほしい	34.1	30.6	35.9
教育費がかかる	27.6	27.6	27.7
健康上の理由	21.8	20.4	22.6
年齢的な理由	21.2	20.4	21.5
仕事と育児の両立が難しい	14.0	12.2	14.9
住宅が狭い	11.3	12.2	10.8
配偶者と意見が合わない	10.6	11.2	10.3
育児の身体的・精神的負担が大きい	10.2	7.1	11.8

「平成11年少子社会に関するアンケート調査(市民全体調査)」(札幌市児童家庭部)